

今月の「いいね！」



ワークセンター小路

木工班ではおもちゃ等の子ども向け製品を作っています。定番商品はカスタネットやスズなどの楽器シリーズや、転がして遊べる『ゴロゴロカー』『ママゴトセット』など。ヒノキやケヤキなどの天然木材に化学塗料や溶剤は使わず、メンバーさんがひとつひとつ丁寧にやすりをかけているので、小さな子どもが安心して遊べるような優しい手触りに仕上がっています。木工商品は近隣の学校や幼稚園、福祉ショップなどで販売しておられます。主な購入者は小さなお子さんのいるお母さんのほか、ギフト用にと買い求められるそうです。しかし木工製品は気軽に何度も買ってもらえるものではないため、売上をあげることに難しさがあります。

そんなワークセンター小路さんで昨年新しい仕事の依頼がありました。ノベルティ商品として夫婦箸と箸入れを約 360 膳分、数か所の事業所で共同受注するというものです。今まで作ったことのない製品を大量に作ることに不安もありましたが、夫婦箸を木工班、箸袋を手織班で共にチャレンジし、素敵な商品を納品することができました。

ワークセンター小路さんは寝屋川市にある生活介護の事業所です。“働く事を通じて、社会との関わりを持ち、自分らしく輝ける場に”と「木工」「紙すき」「手織」「軽作業・リサイクル」に取り組んでいらっしゃいます。

これを通してメンバーさんにボーナスをお渡しすることができ、お客様のニーズに応える商品づくりを経験することができました。

製品づくりはメンバーさんの“仕事”として、お客様には“情”ではなく“一商品”として見て頂きたいと考えておられます。「良い商品づくりが出来ているので、販路開拓と、発信力をつけることがこれからの課題」だとおっしゃっていました。



事業所 連絡先

社会福祉法人 護良福祉会
ワークセンター小路
寝屋川市小路南町8番2号
TEL：072-820-6135 FAX：072-820-6147

経営セミナーのお知らせ

今年度の最後は、他県の事業所の事例紹介です。

今後の参考になるような話題が必ずあると思いますので、ぜひセミナーにご参加ください。

今年度の経営セミナーは、『プロのショップ経営に学ぶ』というテーマで、「雑貨屋」「配食サービス」「パン屋」「カフェ」と経営者の方をお招きして仕事に対する考え方や現場で工夫されていることなどについて語っていただきました。いずれの方も個性がキラリと光る方ばかりで大変興味深いお話が多かったように思います。

そもそも、なぜプロの経営者のお話を聞くことにしたのかというと、経営のセオリーを学ぶだけではなく、現場の経験や思いを聞くことでより実践的な内容にしようと考えたからです。例えば同じ喫茶店であっても、それぞれの目指すものや商品、客層、地域性などさまざまな要因によって取り組み方は変わってくるものだと思います。



今回のセミナーでは、プロの経営者ではなく事業所の方をお招きします。今年度のラストとして、“利用者さんが働く”ということを意識したセミナーにしたいからです。

この度お話をさせていただく『特定非営利活動法人いねいぶる』は、兵庫県たつの市で相談支援や生活・就労の支援、グループホームの運営など幅広く事業を展開されています。お仕事はご飯屋さんやコミュニティカフェ、お弁当屋さんの他、紙すきや清掃などいろいろ手がけておられます。

なによりみなさんに聞いていただきたいのは、お仕事をつくることや地域とつながることの取り組みがとてもおもしろいということです。

おしごと情報

お問い合わせ

電話 06-6949-3551
FAX 06-6920-3522

※お申込みは、工賃引上げ計画シート提出済みの事業所が対象となります。

下請
1

定規セット封入作業

□堺市にある企業様からのご依頼で、堺市周辺の複数の事業所を募集いたします。



- 内容 定規等5点をセットし、プラスチックケースに入れ、OPP袋に封入する作業です。
※重量の検品あり
- 数量 1か月で5,000～10,000セット。
- 納品 商材・納品のデリバリーは企業負担。
- 単価 @3円
- 時期 通年（平成27年3月開始予定）

詳しい内容は
担当の小山まで

まいと!!! 共同販売shopです!

“ torute（トルテ） ”

場 所： 大阪市営地下鉄堺筋本町駅中北改札前
営 業 日：月曜～金曜（土日祝は休業）
営業時間：午前9時半～午後5時
大阪ハートフル商店街 <http://www.osaka-heartful.jp>

大阪ハートフル

検索

大阪市営地下鉄堺筋本町駅の中北改札を出て、すぐそばにある“トルテ”は、ネットショッピングモール『大阪ハートフル商店街』のアンテナショップとして、自主運営されています。

『大阪ハートフル商店街』は、大阪市内の39の事業所が集まり、インターネット内でショッピングモールを展開。さまざまな商品の販売はもちろん、イベント情報や事業所が受けている下請け仕事の検索もできます。ホームページの運営管理は、大阪市から事業委託を受けている『中津サテライトオフィス』がされています。そして、インターネットから飛び出し、商品を実際に手に取ったり、どのように作っているのか聞いたりできるお店が“トルテ”です。「工芸品、織りもの、縫製品などは、オリジナルの一点物も多く、質感や色合いなどを見ていただくためには、お店に来て、買っていただくが一番です」と語る担当者。その言葉通り、手織りのポーチや手作りストラップなどがよく売れているそうです。

“トルテ”は、大阪市交通局から社会貢献スペースとして場所を提供していただき、趣旨に賛同する事業所が集まり店舗運営をされています。販売当番はシフト制で午前と午後で担当の事業所が入れ替わります。そして、売り上げの25%を運営費に充て、そこから人件費、光熱水費と備品をまかなっているそうです。さらに、委託を受けている商品を地域などのイベントで“トルテ”として出店販売されています。このような販売会によって「これからは、もっとトルテを知ってもらう機会を増やしていきたい」とおっしゃっていました。

“torute(トルテ)”とは、みんなの思いを重ね合わせ手を取り合う、という意味だそうです。

みんなとは、障がいのある人たちだけでなく、お客様、お店を紹介して下さる方、販売機会を提供して下さる方などさまざまな方と手を取り合って人の輪を広げていきたいと、最後に語っておられました。